# お手入れ

⚠注意 ●お手入れは、　必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。

## トッププレート部・本体・天ぷら鍋（付属品）

ご注意
●ご使用のたびにお手入れしてください。
●ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
●吸・排気口に水が入らないよう、ご注意ください。

### トッププレート・プレートワク（ステンレス製）

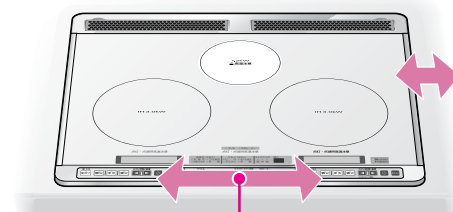
**●軽い汚れ**
絞ったふきんでふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

**●油汚れ**
台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意 酸性・アルカリ性の強い洗剤（漂白剤、住宅用合成洗剤など）は使わないでください。（トッププレート・トッププレートワクの変色の原因となります。）

**●落ちにくい汚れ**
クリームタイプのみがき粉を丸めたラップにつけてこすりとる。

※プレートワクはステンレスの筋にそって、こすってください。

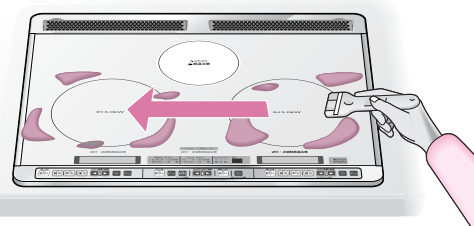
ご注意
●ドライバーやフォークなど先の鋭いものや粒子の粗いみがき粉は使わないでください。
●金属のたわし・スポンジのナイロン面、アルミホイルなどでこすらないでください。（トッププレート・プレートワクが傷つく原因となります。）

筋の方向は横向きです

**●それでも落ちないときは**
市販のセラミック用スクレーバー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふき取る。

別売品　2008年2月現在

**トッププレート専用クリーナー**
●トッププレートの汚れをおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを抑えます。

品　名：ガラスクリーナー
型　式：HT－K1
希望小売価格：1,470円
（税抜1,400円）

※お買い上げの販売店または「ご相談窓口」➔P.51 にご相談ください。
希望小売価格は価格改定に伴い変更する場合があります。

ご注意
●しょうゆなどの調味料を放置すると、汚れあとが残ることがあります。
●鍋底の汚れがトッププレートにつく場合があります。鍋底の汚れも取り除いてください。

### 吸・排気カバー

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
※たわしやみがき粉は使わないでください。

ご注意
●汚れて目詰まりしたまま使うと、安全装置が作動して通電を停止したり、グリル使用中にグリルドアから煙がもれたりする場合があります。
●お手入れ後は、水気をよくふき取り、本体に必ずセットしてください。

グリルのお手入れは ➔P.32～33

### 天ぷら鍋（付属品）

①薄めた台所用洗剤（中性）とお湯で洗う。
●たわしやみがき粉（クレンザー）は使用しないでください。

②鍋底や外側の異物や汚れをとる。
●汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。またトッププレートが汚れます。

③洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。
●洗ったままにしておくとさびます。
※天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
●鍋底が反ってきたり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。➔P.5

### 上面操作パネル部

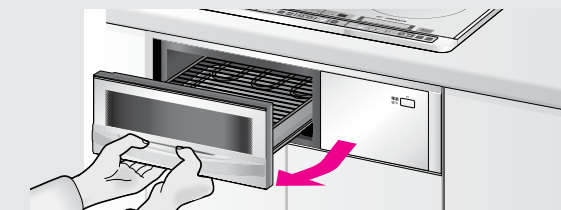
やわらかい布でふき取る。
汚れがひどいときは、台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

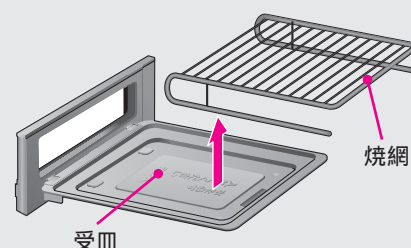
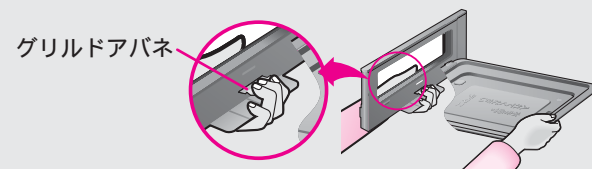
ご注意
●水にぬらさないでください。故障の原因となります。
●ベンジン・シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤は使わない。
●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。

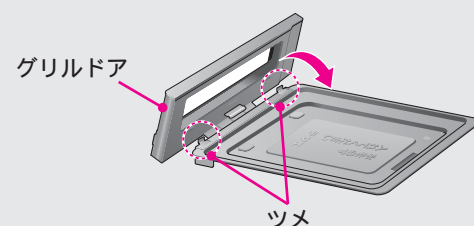
⚠注意 ●お手入れは、必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。

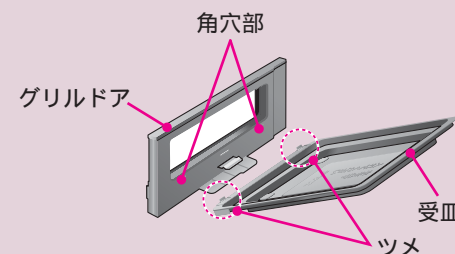
# グリル部

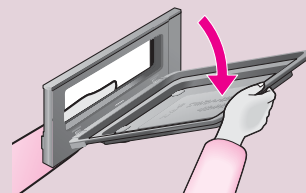
## グリルドア･受皿･焼網の取り外しかた

**1** とってを両手でしっかり持ち、ゆっくり止まるまで引き出し、手前を少し上に持ち上げながら外す

受皿内の脂などをこぼさないように注意してください。

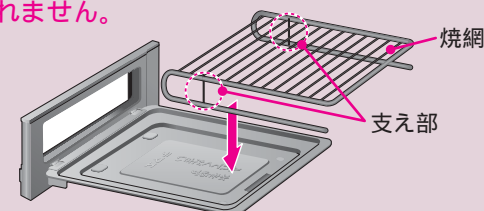
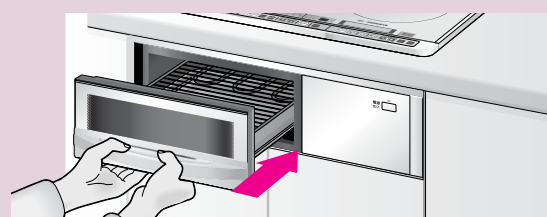
**2** 焼網を外す

**3** とっての下側に手をまわし、グリルドアバネを軽く引き下げる

グリルドアバネを押さえずに無理に外すとグリルドアが破損したり、変形することがあります。

**4** グリルドアを受皿側へ倒すようにし、左右2個のツメを外す

## グリルドア･受皿･焼網の取り付けかた

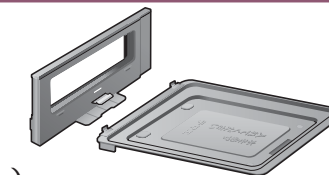
**1** 受皿を斜めにし左右2ヶのツメをグリルドアの角穴部に下より差し込む

**2** グリルドアを手でささえ、受皿を図のように下げる

※カチッと音がして受皿が固定されます。

**3** 焼網をのせる

○焼網は、支え部をグリルの手前にしてのせてください。

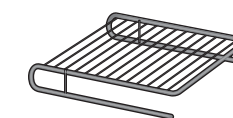
※のせる向きを逆にすると、本体に取り付けられません。

**4** 斜め上からはめ込み、ロックするまでゆっくり押す

## グリルドア･受皿のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

**ご注意**
- ●ご使用のたびにお手入れしてください。
- ●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
- ●グリルドアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

## 焼網のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

**ご注意** 焼網のフッ素加工を傷めないでください。

- ●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。フッ素加工に傷が付いたりはがれたりすることがあります。
- ●焼網は食器洗い乾燥機に入れたり、アルカリ性の洗剤で洗ったりしないでください。
- ●ご使用のたびにお手入れしてください。
  汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
- ●焼網は消耗品です。フッ素加工が傷んだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。➔ P.5

## グリル庫内のお手入れ

庫内クリーニングをご使用ください。グリル庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

**準備** 焼網を取り外し、グリルドアを確実に閉める
（焼網を入れたまま庫内クリーニングをするとフッ素加工を傷めます）

**1** 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源を入れる**（ランプが点灯します）

**2** 追加焼き（クリーニング3秒押し）を3秒押し、表示部に「CL」を表示させる

**3** 切/スタート を押し、通電する

メロディーが鳴ったら終了です。

**4** 続けて使わないときは

電源 切/入 を押し、電源を切る（ランプが消灯します）

**ご注意**
- ●においを軽減しますが、汚れは除去できません。
- ●クリーニング中は、グリル庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ず換気扇を使用してください。

グリル庫内に落ちた食品カスなどは、グリル庫内が冷えてから手袋などをして取り除いてください。

**ご注意**
グリル庫内は金属部が数多くありますので、やけどやけがに十分注意してください。

クリーニング中は表示部に CL を表示します。約10分で終了します。

●庫内の温度が約80°C以下になるまでグリルの高温注意ランプが点滅して**高温表示**をします。

# 故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次のことをお調べください。

| | 現　象 | 原　因 |
|---|---|---|
| 電源が入らない／通電しない | 通電しない。 | ●専用ブレーカーが切れていませんか。<br>専用ブレーカーを入れてください。<br>●電源が切れていませんか。（電源ランプが消えている。）<br>電源を入れてください。<br>• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。<br>• 電源ランプが点灯します。<br>※電源を「入」の状態で約30分放置するとオートパワーオフ機能が働き、自動的に電源が切れます。<br>●チャイルドロックが設定されていませんか。<br>チャイルドロックを解除してください。➔P.29<br>●中央ヒーターロックが設定されていませんか。<br>中央ヒーターロックを解除してください。➔P.29<br>●左・右ヒーターで使える鍋を使用していますか。<br>（使える鍋について ➔P.12） |
| | 使用途中にヒーターの通電が停止した。（切り忘れ防止自動停止機能） | ●切り忘れ防止自動停止機能が働いています。<br>各ヒーターに一定時間経過すると自動的に通電を停止する、切り忘れ防止自動停止機能が設けられています。<br>• 左・右・中央ヒーターは操作後約45分<br>• グリル（手動調理）は約30分<br>切り忘れ防止自動停止機能が働いた時はブザーでお知らせします。<br>再度、通電をスタートしてください。 |
| | 液晶表示の火力バーが交互に点灯し、約30秒後に消灯した。（小物検知自動停止機能、鍋無し自動停止機能） | ●鍋をヒーターの中央に置いていますか。<br>●使えない鍋を置いていませんか。➔P.12<br>使える鍋を置いてください。　※図は火力「7」で使用した場合。<br>7 ⇔ 7<br>約30秒後、ブザーが鳴り、液晶表示が消え、通電を停止します。<br>※付属の天ぷら鍋で確認しても同じ場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| | 使用途中に停電になった。 | ●通電中のヒーターは停止し、タイマーも取り消されます。<br>●電源を入れ、もう一度操作を初めから行ってください。<br>• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。<br>• 電源ランプが点灯します。<br>⚠警告　トッププレートやグリルドアおよび庫内など高温部に触れない |

| | 現　象 | 原　因 |
|---|---|---|
| 火力が弱い | 鍋底の直径が小さかったり、鍋底が反っている鍋は火力が弱くなることがある。 | ●ホーロー製やステンレス製の鍋については鍋底の直径が左・右ヒーターの場合は12〜26cmのもので、鍋底の反りが3mm以下のものをご使用ください。（使える鍋について ➔P.12） |
| | 左・右ヒーターで火力が違う。 | ●同じ鍋でも、左・右ヒーターの特性の違いで火力が異なる場合があります。また小さい鍋では、通電できる場合とできない場合があります。そのままご使用ください。 |
| | 炒めものなどを行うと左・右ヒーターの火力が弱くなることがある。 | ●炒めものなどを行うと、鍋底温度が上がり、自動的に火力をコントロールする場合があります。温度が下がると自動的に火力が強くなるので、そのままご使用ください。 |
| | 中央ヒーターが周期的に赤くなったり、消えたりする。 | ●中央ヒーターは、火力のコントロールや温度調節機能が働くため、ヒーターが赤くなったり、消えたりします。（火力「強」の場合でも温度調節機能が働きヒーターが赤くなったり、消えたりします。）異常ではありません。<br>●反った鍋などを使うと消えている時間が長くなります。 |
| 音がする | 電源を入・切すると「カチャ」と音がする。 | ●電源を入・切すると、内部電気部品のスイッチの作動音がします。異常ではありません。 |
| | 電源を切っても音がする。 | ●本体内部の冷却のために、ファンが最大約2分間回ることがあります。異常ではありません。<br>自動的にファンは止まります。 |

# 故障かなと思ったら（つづき）

| 現　象 | | 原　因 |
|---|---|---|
| 音がする | 使用中にファンの音が止まることがある。 | ●本体内部を冷やすために冷却ファンが回転していますが、設定火力によっては止まることがあります。 |
| 音がする | 左・右ヒーター使用中に鍋から音がする。 | ●鍋底が薄い鍋や多層鍋、ホーローの密着が良くない鉄ホーローなど鍋の種類によっては音（ジー音、カチカチ音）や共鳴音（キーン音、キューン音）が発生することがあります。また鍋のとってに振動を感じることがあります。これは磁力線により鍋自体が振動するためで、異常ではありません。<br>・鍋の位置をずらしたり、置き直したりすると音が止まることがあります。<br>・左・右ヒーターを同時に使用した場合、鍋の種類によっては調理中に共鳴音「キーン」や「キューン」という音がしますが、これも磁力線により鍋が振動するためで異常ではありません。 |
| 表示部の液晶が黒くなる／くもる | 表示部の液晶が黒くなる。 | ●表示部の上に熱い鍋などを置くと液晶が黒くなることがありますが、しばらく放置するともとにもどります。<br>※表示部の上に熱い鍋などを置かないでください。 |
| 表示部の液晶が黒くなる／くもる | 表示部の液晶がくもる。 | ●しばらく放置するともとにもどります。 |

| 現　象 | | 原　因 |
|---|---|---|
| 結露することがある | グリルの吸・排気カバーから出た水蒸気が壁面に結露することがある。 | ●調理時に吸・排気カバーから出る水蒸気などが壁面につき水滴になることがありますので、ふきんなどでふき取ってください。 |
| 煙が出る | グリル調理中、庫内で瞬間的に炎ができたり、吸・排気カバーから煙が出る。 | ●魚の脂などがヒーターの上に直接落ちると、瞬間的に炎や煙が出ることがあります。異常ではありません。<br>●魚の脂などが受皿に落ちると、瞬間的に煙が出ることがあります。異常ではありません。<br>●調理を始めてしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂が加熱されて、においや煙が出ることがあります。異常ではありません。 |
| トッププレートについて | トッププレート（中央ヒーター部）の色が変わる。 | ●中央ヒーターの絶縁材に含まれた湿気が通電により蒸発し、トッププレート内側に結露した状態が透けて色が変わって見える場合があります。異常ではありません。<br>• 通電を続ければ、結露した水分も蒸発します。<br>●中央ヒーターを使用すると、ガラスの特性により、わずかに黄色っぽく見える場合があります。異常ではありません。<br>• 温度が下がれば、もとにもどります。 |

# 故障かなと思ったら（つづき）

## 上面操作パネルに次の表示が出たとき（左・右ヒーター表示部）

| 表示とお知らせ内容 | 確認するところ | 直しかた |
|---|---|---|
| C11 C21<br>左・右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。 | ●空だきになっています。<br>●炒めものの調理を行うと表示する場合があります。<br>●付属の天ぷら鍋以外の鍋で揚げもの温度コントロールを使用した場合<br>●高温の油で揚げもの温度コントロールを使用した場合 | ●鍋に調理物を入れてください。<br>●火力を下げてご使用ください。<br>●付属の天ぷら鍋を使用してください。➔P.5<br>●油を冷ましてから使用してください。 |
| C12 C22<br>揚げもの温度コントロールを使用したら、左・右ヒーターの液晶表示が赤く点灯する。 | ●付属の天ぷら鍋の底に2mm以上の反りがあったり変形しています。<br>●付属の天ぷら鍋の底やトッププレートに異物や汚れが付着している。<br>●付属の天ぷら鍋以外の鍋で揚げもの温度コントロールを使用した場合 | ●反りや変形がある場合は新しい鍋をご購入ください。➔P.5<br>●異物や汚れの場合はお手入れをしてご使用ください。<br>●付属の天ぷら鍋を使用してください。➔P.5 |
| H15 H25<br>左・右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。 | ●吸・排気カバーにほこりがたまっています。<br>●吸・排気カバーがふさがれています。 | ●ほこりをふきとってください。➔P.31<br>●ふさがないでください。 |
| H17 H27<br>左・右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。 | ●鍋の種類が違っています。 | ●鍋の種類を確認してください。➔P.12 |
| C61<br>液晶表示が赤く点灯する。 | ●電源電圧が異常に高い場合や低い場合。 | ●お買い上げの販売店にご連絡ください。 |

**表示が出たときは・・・**

① C11、C12、H15、H17 の表示が出たときは左ヒーターの 切/スタート を押す。

② C21、C22、H25、H27 の表示が出たときは右ヒーターの 切/スタート を押す。

**上記以外の表示がでたときは、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。**

※①、②の操作をすると表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

## 上面操作パネルに次の表示が出たとき（グリル・中央ヒーター表示部）

| 表示とお知らせ内容 | 確認するところ | 直しかた |
|---|---|---|
| C1 C3 | ●連続して魚を焼いた場合。 | ●いったん通電を切り、グリル庫内の温度を下げてから、次の調理物を入れる。 |
| C6 | ●電源電圧が異常に高い場合や低い場合 | ●お買い上げの販売店にご連絡ください。 |

**表示が出たときは・・・**

① C1、C3 の表示が出たときはグリルの 切/スタート を押す。

※①の操作をすると表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

**上記以外の表示がでたときは、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。**

# 火力の目安について

### ●左・右ヒーター（IHヒーター）

左・右ヒーターを使うときは ➔P.16、17

| 火力の目安 | 火力 | 消費電力 |
|---|---|---|
| ハイパワー | 12 | 3.0kW |
| | 11 | 2.6kW |
| 強　　火 | 10 | 2.0kW |
| | 9 | 1.6kW |
| 中　　火 | 8 | 1.4kW |
| | 7 | 1.1kW |
| | 6 | 800W |
| 弱　　火 | 5 | 500W |
| | 4 | 400W |
| | 3 | 300W |
| | 2 | 200W 相当 |
| と　ろ　火 | 1 | 100W 相当 |

※消費電力は、鉄ホーロー鍋を使った場合です。

※相当とはヒーターの入/切による平均消費電力です。

### ●中央ヒーター

中央ヒーターを使うときは ➔P.21

| 火力の目安 | 消費電力 | 火力表示ランプ |
|---|---|---|
| 強 | 1.2kW | ○○● |
| 中 | 600W相当 | ○●○ |
| 弱 | 300W相当 | ●○○ |